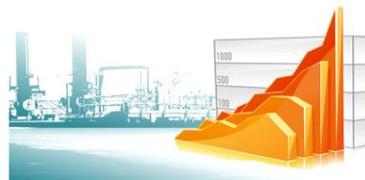


# ぎふ経済レポート



令和3年12月分  
岐阜県商工労働部

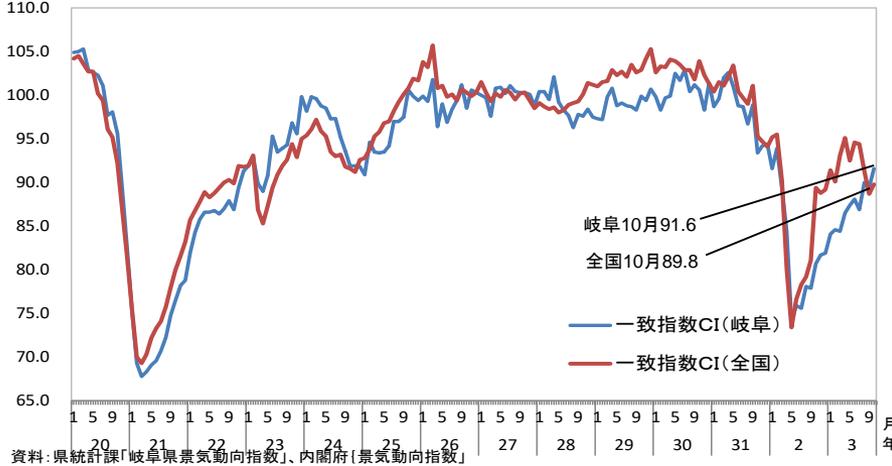
※企業等へのヒアリングは 1月4日～6日を中心に実施し、1月18日時点で作成。

# 景気動向

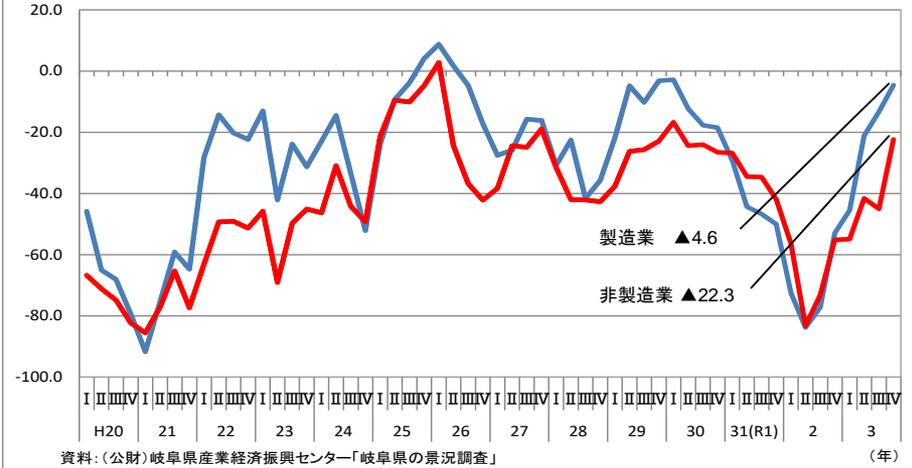
- 10月の景気動向指数(一致指数)は、91.6で前月比2.3ポイント上昇した。
- 11月の県内中小企業の景況感は、▲24で前月比9ポイント上昇した。

- 10-12月期の景況DIは、製造業で前期比8.7ポイント、非製造業で同22.7ポイント上昇した。売上高DIは、製造業で同▲8.0ポイント低下、非製造業で同12.1ポイント上昇した。

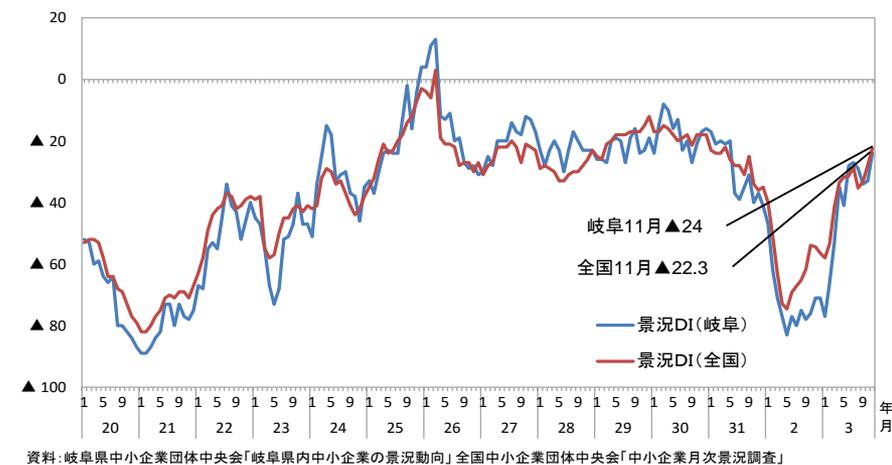
岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移 (平成27年=100)



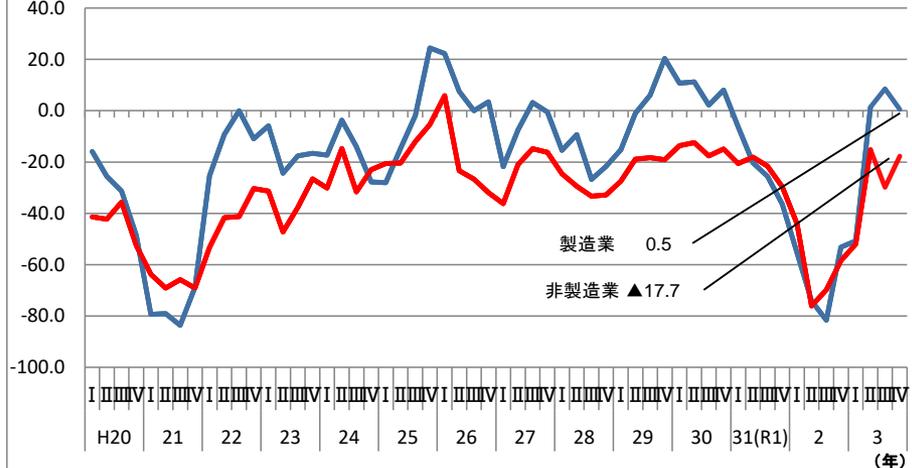
県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



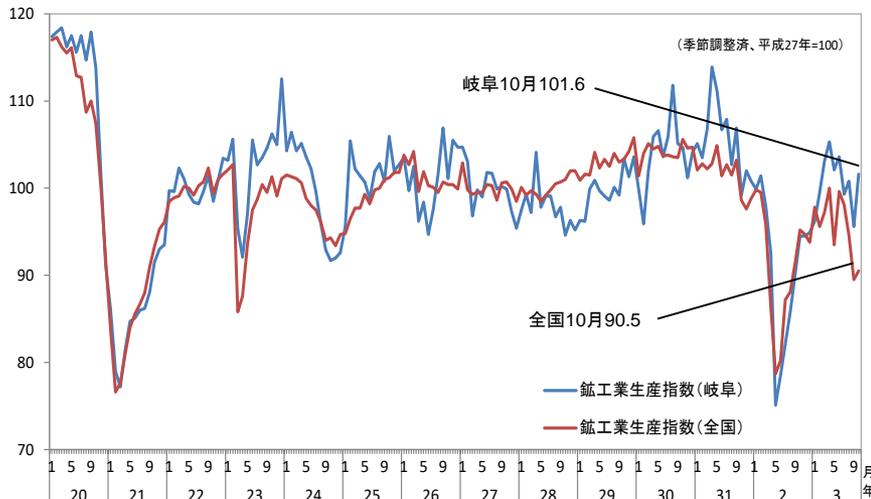
# 製造業

○10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、101.6で前月比6.3%と上昇。

○主な産業の前月比では、鉄鋼業、はん用、非鉄金属で低下したものの、化学工業、輸送用機械、金属製品、電気機械、プラスチック製品工業で上昇した。

○10月の主な産業の指数は、鉄鋼業で前月比▲5.2%、はん用で同▲0.7%、非鉄金属で同▲0.1%低下したものの、化学工業で同27.9%、輸送用機械で同13.3%、金属製品で同5.8%、電気機械で同4.2%、プラスチック製品工業で同2.8%と上昇した。

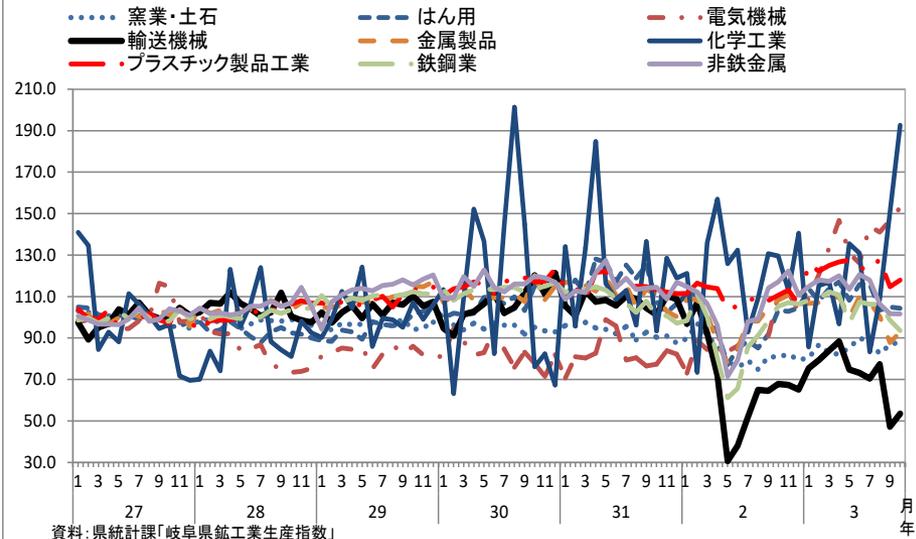
鉱工業生産指数の推移



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」

主な産業の鉱工業生産指数

(季節調整済、平成22年=100)



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業生産指数」

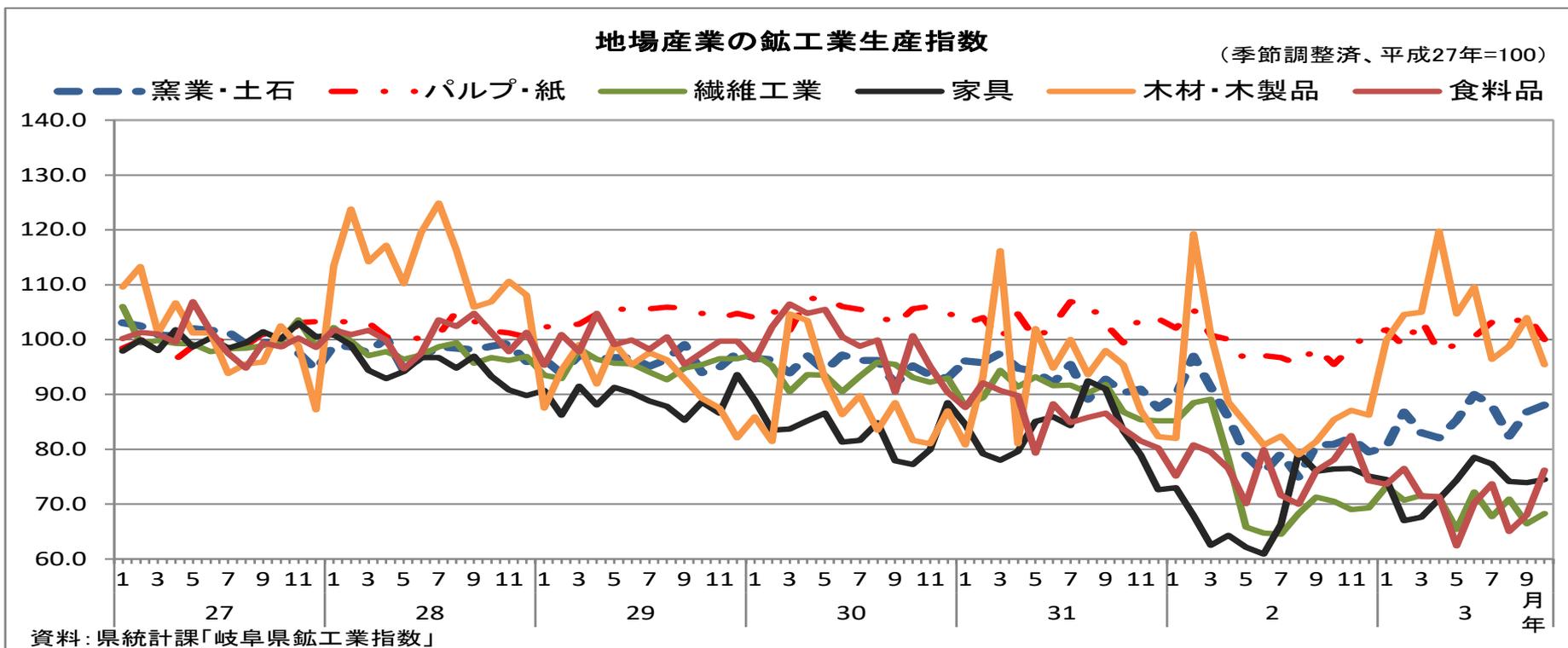
## 現場の動き

(※新型コロナウイルスや原材料等の不足・価格高騰の影響はP6にも掲載)

- ◆ 半導体関係は引き続き堅調である。(輸送用機械)
- ◆ 半導体関係は稼働率100%の活況であるが、最近頭打ちの傾向も出始めており、注視している。(輸送用機械)
- ◆ 大手自動車メーカーの一部工場停止の影響で12月は減産した。1月も減産の見込み。(プラスチック製品製造)
- ◆ 自動車関連産業は需要が戻りつつあるが、大手自動車メーカーの減産の動きを懸念している。(輸送用機械)
- ◆ 大手自動車メーカーの一部工場停止の影響は現時点ではないが、今後の影響を懸念している。(輸送用機械)
- ◆ 中国の建設機械需要の落ち込みにより、1月以降の受注が減少する見込み。(生産用機械器具)

## 製造業-2

○10月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、木材・木製品で前月比▲8.3%、パルプ・紙で同▲4.3%と低下したものの、食料品で同12.1%、繊維工業で同2.9%、窯業・土石で同1.5%、家具で同0.8%と上昇した。



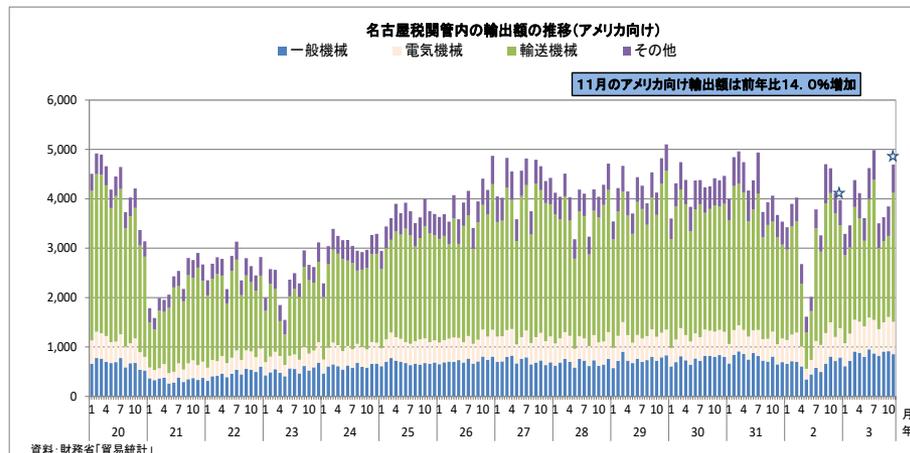
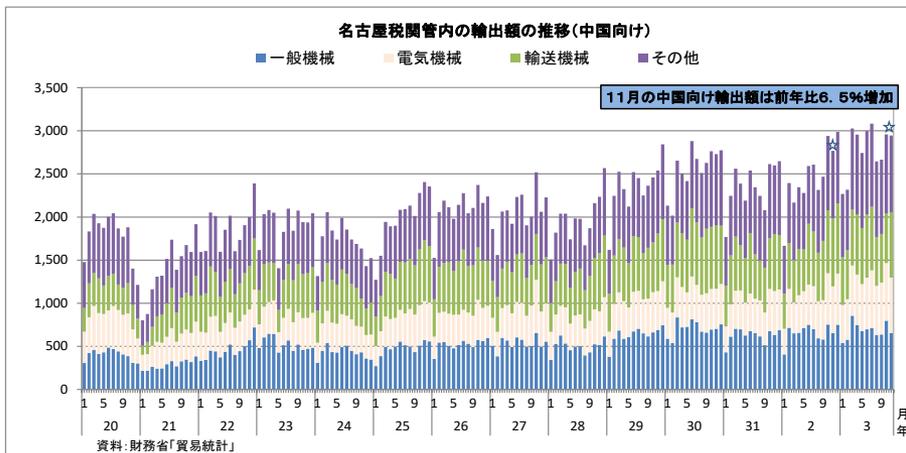
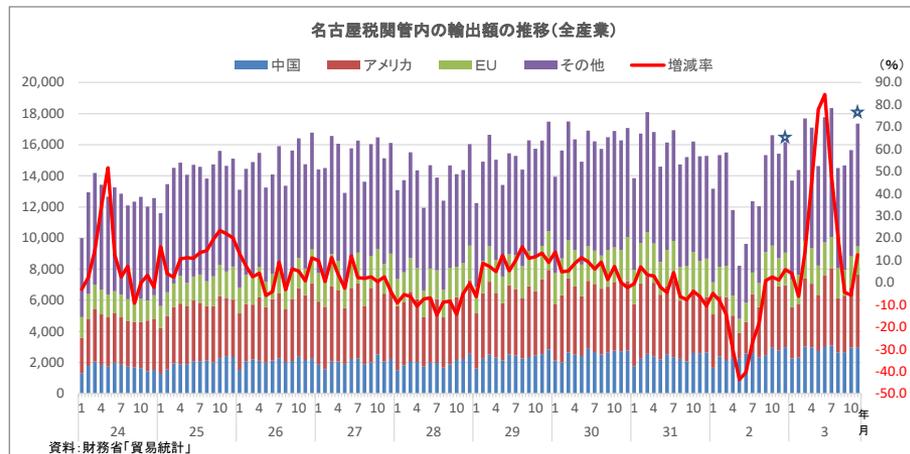
### 現場の動き

(※新型コロナウイルスや原材料等の不足・価格高騰の影響はP6にも掲載)

- ◆ 昨年と比べ売り上げはそれほど変化はないが、コロナ前と比べると半分以下で推移している。(繊維)
- ◆ リベンジ消費の影響もあり、業況は回復していると感じている。コロナが落ち着き飲食店で動きがあることが影響している。(陶磁器)
- ◆ 円安の影響で輸出は好調だが、資材の値上がりが続いており厳しい。(刃物)
- ◆ 産業用の用紙が好調で回復傾向にある。一方、巣ごもり需要関連の商品は伸び悩んでいる(紙)
- ◆ 売上は回復傾向で、旅館や百貨店などからの注文が増えている。(食品)

# 輸 出(名古屋税関管内)

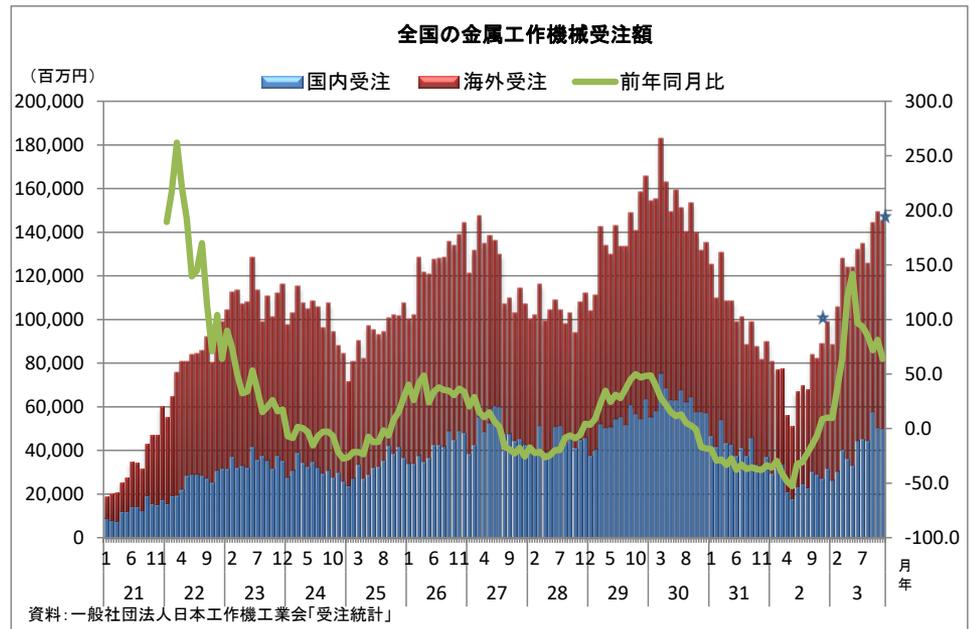
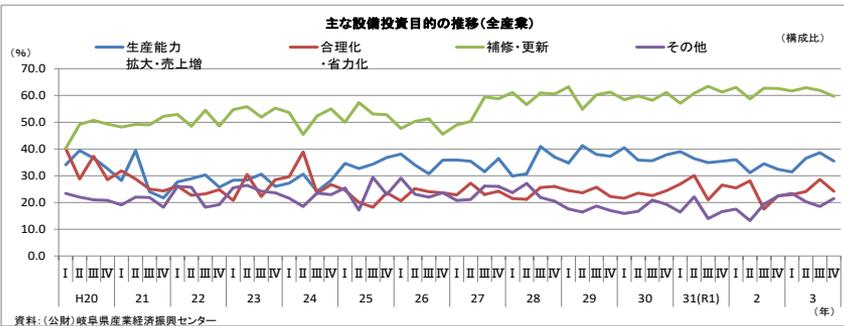
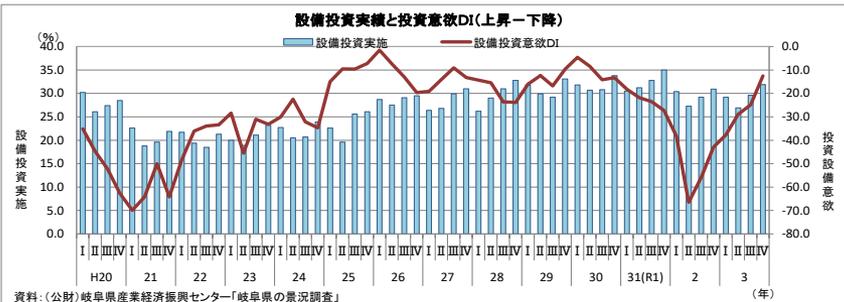
- 11月の輸出額(全国)は、7兆3,671億円で前年同月比20.5%増加した。
- 11月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆7,351億円で前年同月比12.5%と増加し、3ヶ月ぶりに前年同月を上回った。
- 中国向けは、全体で前年同月比6.5%増加した。その内、電気機械で同18.2%、一般機械で同0.5%増加し、輸送機械で同▲4.1%低下した。
- アメリカ向けは、全体で前年同月比14.0%増加した。その内、電気機械で同33.2%、一般機械で同19.9%、輸送機械で同4.3%増加した。



# 設備投資

○10-12月期の設備投資実施DIは前期比2.3ポイント上昇、設備投資意欲DIも同12.4ポイント上昇。設備投資実施DIの目的別では、「合理化・省力化」で前期比▲4.4ポイント、「生産能力拡大・売上増」で同▲3.1ポイント、「補修・更新」で同▲2.2ポイント低下した。

○10月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比64.0%増加と13ヶ月連続で前年を上回った。内訳は国内受注では同84.9%増加と9ヶ月連続、海外向けは同54.8%増加と13ヶ月連続で前年を上回った。



## 現場の動き

(※新型コロナウイルスや原材料等の不足・価格高騰の影響はP6にも掲載)

- ◆ 国の事業再構築補助金を活用した設備投資が増えてきている。(金融機関)
- ◆ 新分野への進出に向けて投資を行う予定であり、補助金も申請した。(陶磁器)
- ◆ ソフトピアジャパンのIoT関係の補助金を活用し、工場の稼働状況の見える化を図る予定である。(輸送用機械)
- ◆ 今後の設備投資については、建物については予定がないが、設計機械は随時更新する。(輸送用機械)
- ◆ 今後、工場の増設を予定している。(非鉄金属)
- ◆ 受注増に伴い機械設備を更新した。今後10年程度をかけ製造工程の自動化を進める。(プラスチック製品製造)

## 製造業関係における新型コロナウイルスの影響について

- ◆ オミクロン株の影響による水際対策により、海外転勤や海外出張について遅れが生じている。(輸送用機械)
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響で、半導体不足だけでなく、東南アジア経済の停滞が続いている。また、オミクロン株の感染拡大の影響も出始めており、1月以降の見通しが立たなくなっている。(輸送用機械)
- ◆ 海外との取引は動けない状況が続いている。(輸送用機械)
- ◆ 感染の再拡大により、東南アジア諸国からの自動車部品の調達が滞り、挽回生産どころか、再び減産となる可能性も出始めている。(生産用機械器具)

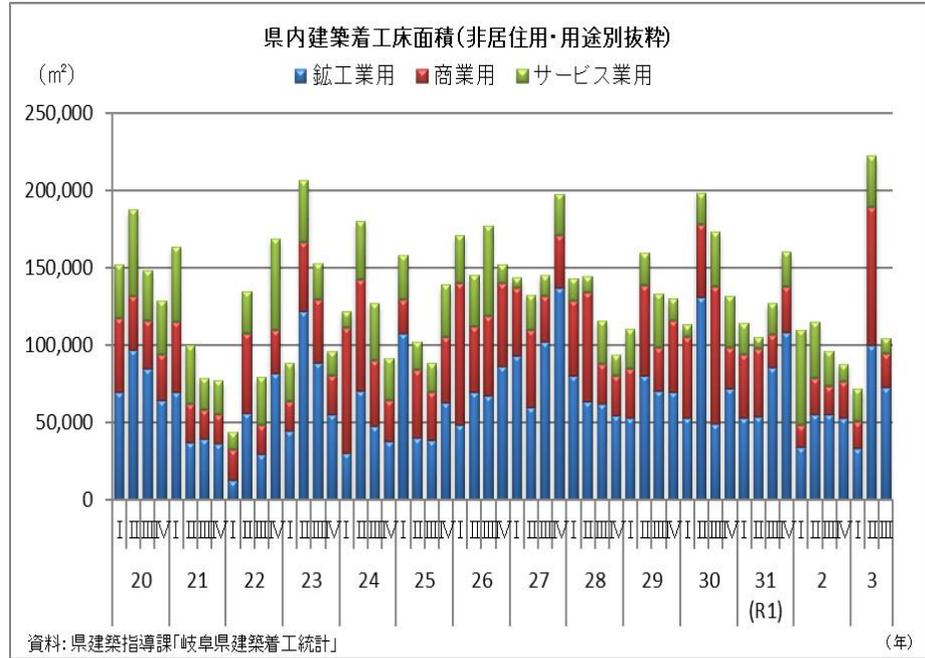
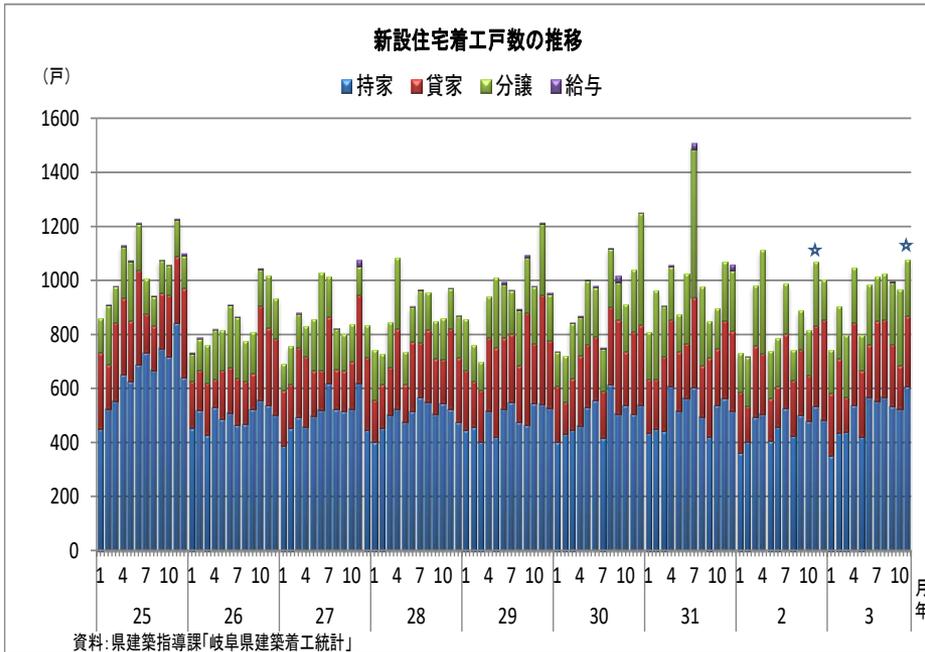
## 原材料等の不足・価格高騰の影響について(原油関係を含む)

- ◆ 昨年比で売上げの増加を見込んでいるが、原料が大幅に値上げされているため収益が圧迫されている。(輸送用機械)
- ◆ 原油価格や原材料となるナフサ価格の高騰に加え、12月はLPG価格の高騰が許容範囲を超えてきた。(輸送用機械)
- ◆ 12月の原材料となるアルミの価格は、11月と同程度、10月と比べては多少下がった感がある。ガソリン価格も少し下がったが、LPGは高止まりが続いていると感じる。(輸送用機械)
- ◆ 生産量は回復したものの、長期間続く原材料価格の高騰が響いている。(輸送用機械)
- ◆ 原材料価格の高騰は1月をピークに下がり始めると見込んでいる。中国でエネルギー消費の制限が緩和された影響が大きいと考えている。(輸送用機械)
- ◆ 鋼材の価格が上がっている。部材によっては5割値上がりしている。(生産用機械器具)
- ◆ 鋼材やその他材料価格の高騰を踏まえ、製品価格の値上げを予定している。(はんよう機械器具)
- ◆ 取引先が原材料の値上がり分を考慮してくれている。(非鉄金属)
- ◆ 原材料価格の上昇分の製品価格への転嫁については業界としても進めているが、今後は労務費の上昇分についての転嫁を進める必要がある。(生産用機械器具)
- ◆ メーカーも価格転嫁を認める状況になってきた。(プラスチック製品製造)
- ◆ 原材料価格の価格転嫁は一部進んでいる。(プラスチック製品製造)
- ◆ 原材料の価格が上がっている。今後、商品価格に転嫁していくことを検討している。(繊維)
- ◆ 鋼材などの原材料だけでなく、外注工賃も上昇している。今後、商品価格に転嫁する予定。(刃物)
- ◆ 燃料費、原材料価格の高騰による影響が大きく、今後商品の値上げを検討している。(紙)

# 住宅・建築投資

- 11月の住宅着工戸数は、前年同月比0.7%と増加した。
- 持家で前年同月比13.7%増加し、貸家で同▲13.0%、分譲で▲11.1%と減少した。

- 7-9月期の非居住用の建築着工床面積は、サービス業用で前年同期比▲53.9%と減少したものの、鉱工業用で同32.9%、商業用で同14.6%と増加し、全体として同8.9%と増加した。



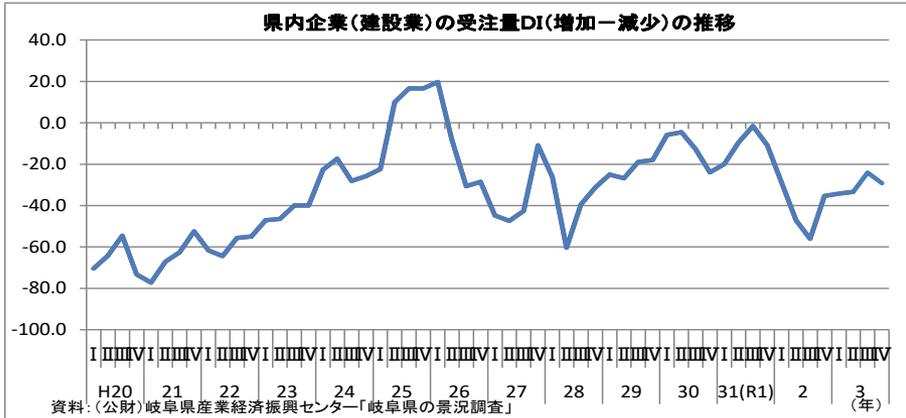
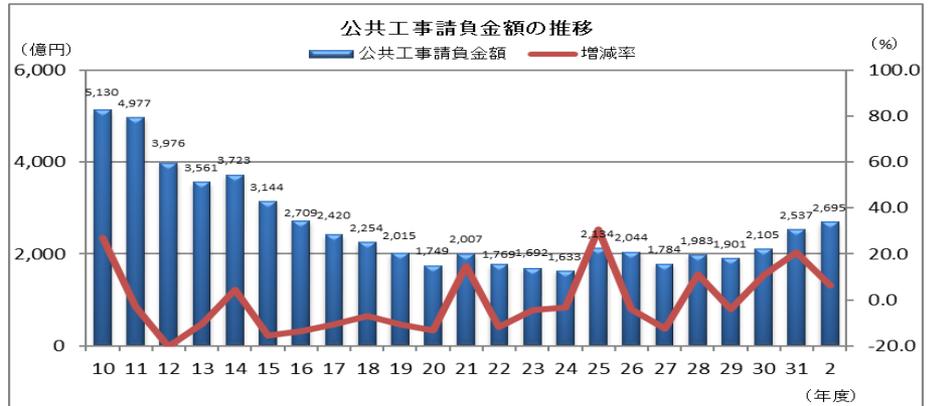
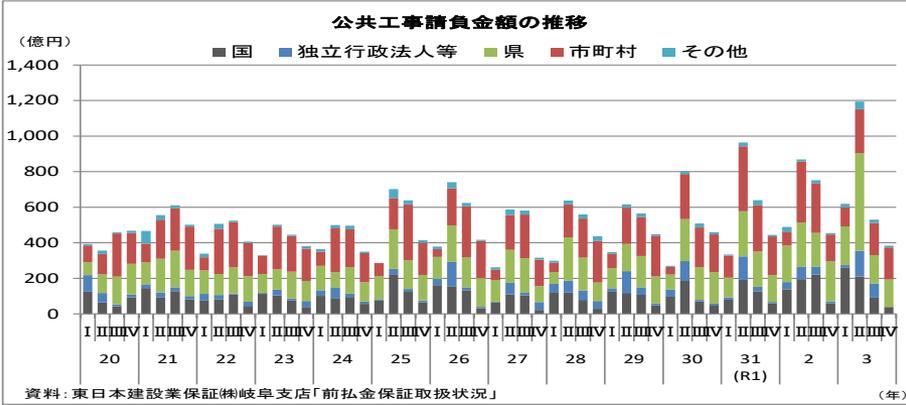
## 現場の動き

＜ウッドショックの影響も含む＞

- ◆ 原木の高騰分については、製品価格に転嫁している。また、原油高が輸送コストに影響しているが、これも製品価格に転嫁し、吸収できている。(工務店)
- ◆ 鉄鋼関係の原材料高が製品価格に反映されており、建築業界への影響が大きい。原油高については、今のところ影響はわずかである。(工務店)
- ◆ トイレや給湯器などの機器不足が不安材料となっている(工務店)

# 公共工事

- 10-12月期の発注者別の公共工事請負金額は、独立行政法人で前年同期比231.8%と増加したものの、国で同▲33.4%、県で同▲31.2%と減少するなど、全体で同▲6.1%減少した。
- 県内建設業の10-12月期の受注量DIは前期比▲5.2ポイント低下、同採算DIも同▲4.5ポイント低下した。



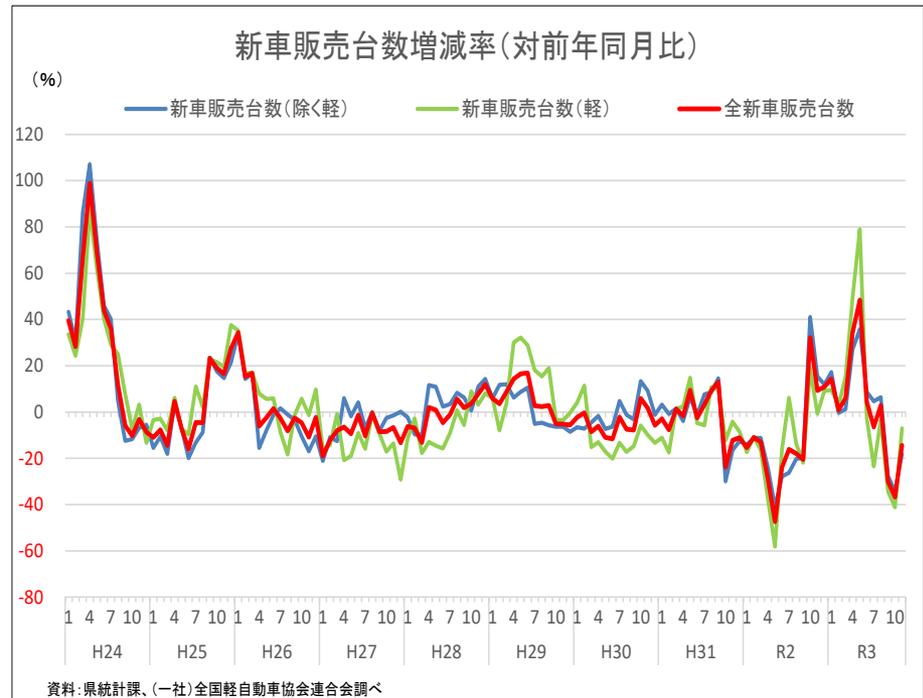
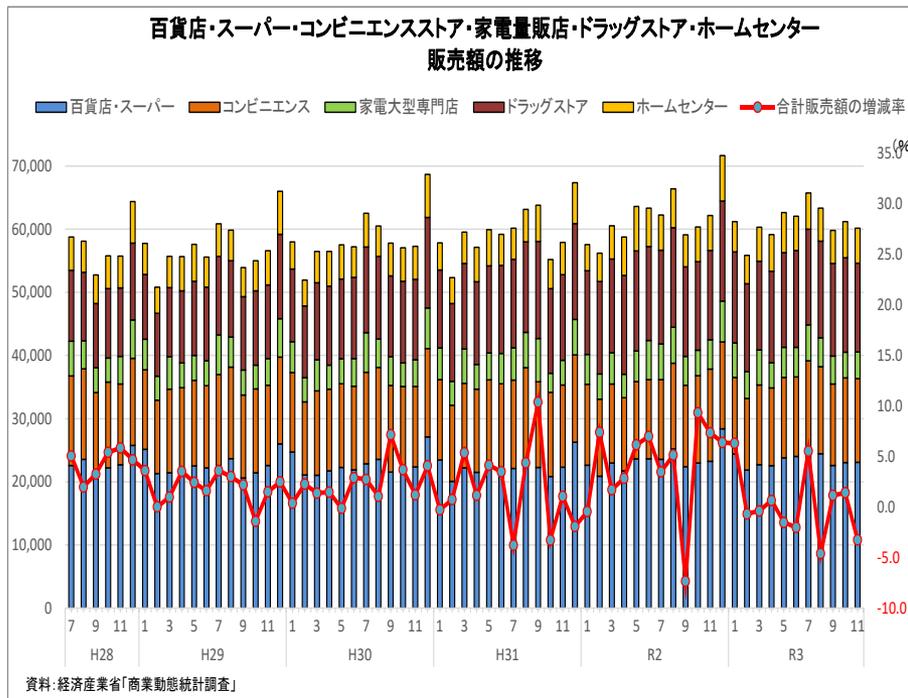
## 現場の動き

- ◆ 今後、ある程度の発注があることは確認できているが、昨年ほどのボリュームはない。
- ◆ 休日出勤や時間外勤務について、ある程度改善が図られたと感じている。国や県の働きかけなども改善が進んだ要因であると考えている。(以上、建設)

# 個人消費(流通・小売)

○11月は家電大型専門店が前年同月比▲9.6%、コンビニで同▲9.3%、百貨店・スーパーで同▲0.7%、ホームセンターで同▲0.3%、ドラッグストアで同▲0.2%と減少し、全体で同▲3.2%と減少した。

○11月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比▲18.1%と3ヶ月連続で前年同月を下回った。軽自動車は同▲7.2%と6ヶ月連続で前年同月を下回った。合算では同▲14.4%と、前年同月を3ヶ月連続で下回った。



## 現場の動き

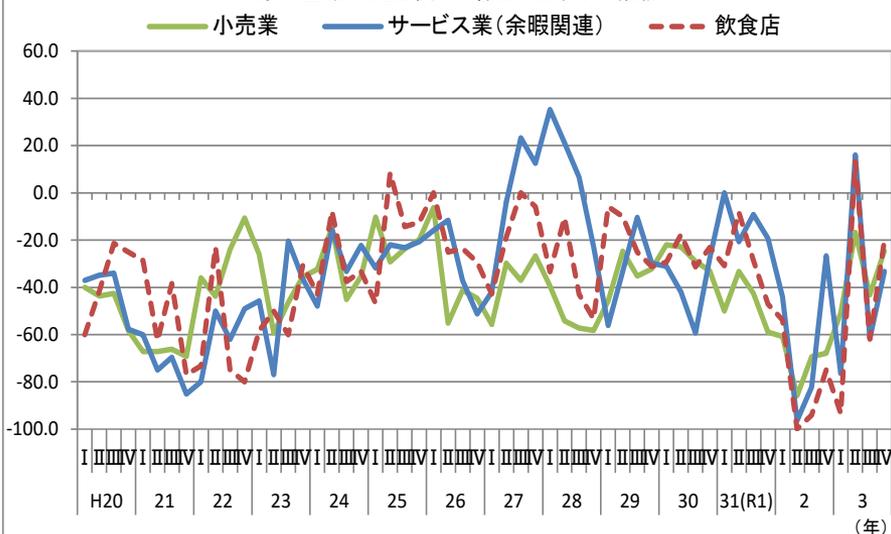
- ◆ 12月はこれまでの自粛等からの消費の反動や気温の低下による衣服需要の増加、行政による消費喚起キャンペーンなどにより、売上・客数ともに前年同月を上回った。
- ◆ 11月以降、ショッピングセンターへの来店客数は増加傾向にある。
- ◆ 原材料価格等の高騰により、今後、消費者向けの商品価格も上昇すると見込んでいる。  
(以上、県内商業施設)

## 個人消費(流通・小売)－2

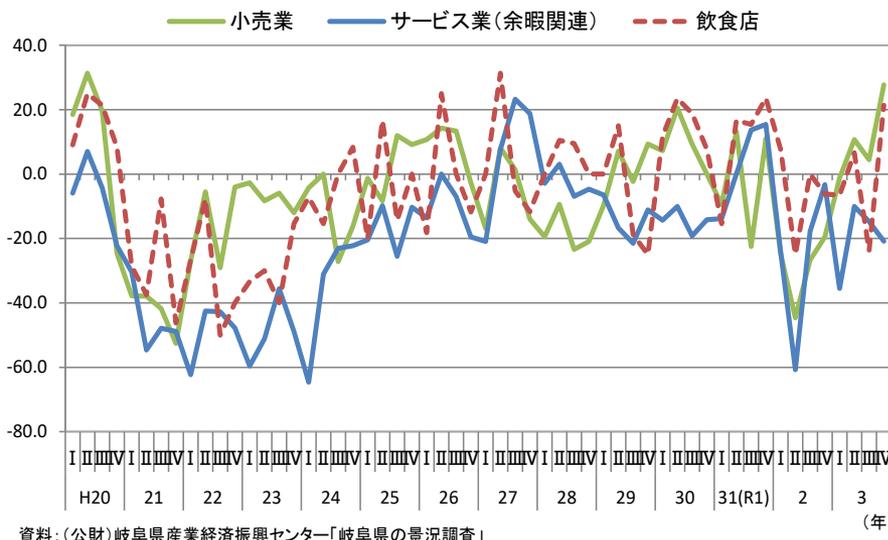
○10－12月期の売上高DIは、飲食業で前期比41.9ポイント、サービス業(余暇関連)で同28.4ポイント、小売業で同18.6ポイントと上昇した。

○同じく販売価格DIは、飲食店で前期比45.2ポイント、小売業で同23.2ポイント上昇、サービス業(余暇関連)で同▲6.1ポイント低下した。

県内企業の売上高DI(増加－減少)の推移



県内企業の製品販売価格DI(上昇－下降)の推移



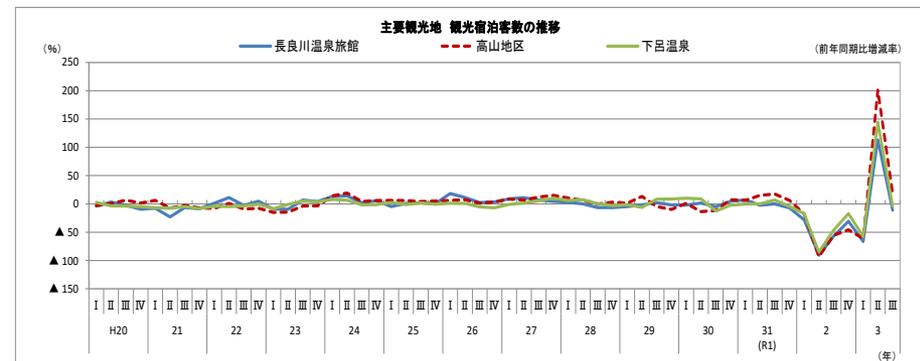
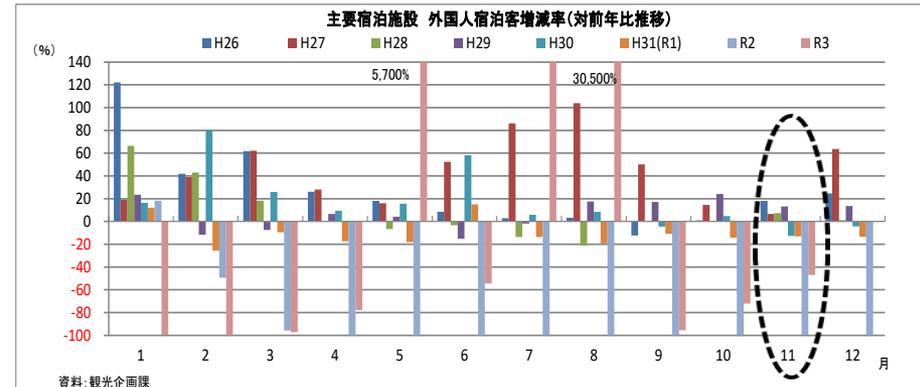
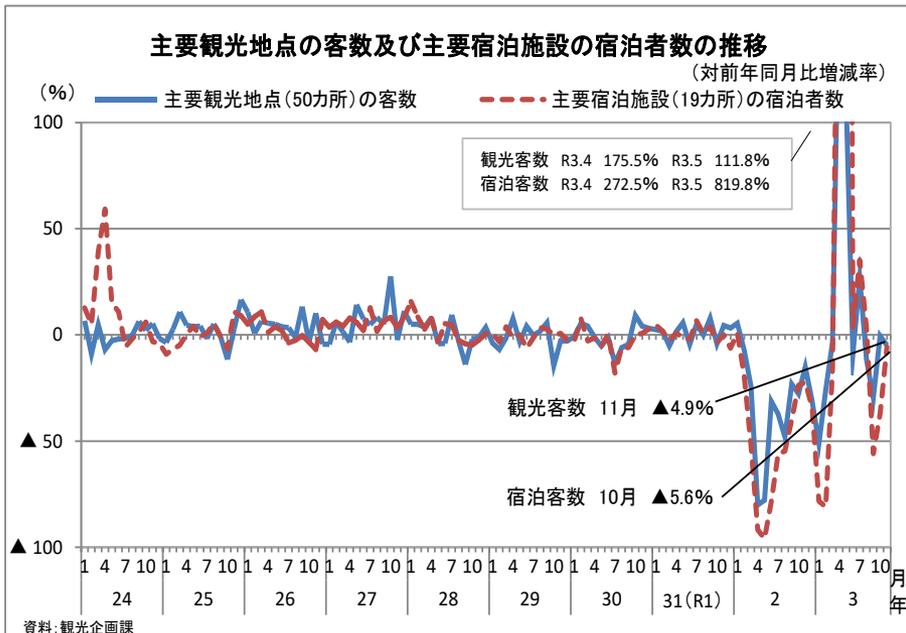
### 現場の動き

- ◆ 12月は、新型コロナウイルス感染症の感染者が少なかったため、クリスマスイベントなどを開催することができ各イベントの人出も激増した。(柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 日用・雑貨店では、法人向けの売上は前年同月比▲20%と低調、特に原油高のせいか、交通・輸送関係からの受注が減少した。和菓子店ではコロナ前まで売上が戻ってきたが、年末のいちごの価格が高騰するなど材料費が値上がりしている。(大垣市商店街)
- ◆ 家電販売店では、例年、年末に好調なテレビも全く売れないなど、経験したことのない年末の状況であった。また、半導体不足による品薄のほか、銅線、銅管などの工事材料が高騰している。(高山市商店街)
- ◆ 酒類販売店では、前年と比べ売上は微増したが、まだまだコロナ前には程遠い状況、忘年会をやらない事業所も多く、少人数での飲み会が多いことも影響していると感じる。(多治見市商店街)

# 観光

- 主要観光地における11月の観光客数は、前年同月比▲4.9%、コロナ前の前々年同月比では▲19.2%となっている。
- 主要宿泊施設における宿泊者数は、前年同月比▲5.6%、前々年同月比では▲25.8%となっている。

- 11月の主要観光施設における外国人宿泊者数は、前年同月比▲47.0%、コロナ前の前々年同月比で▲99.8%となっている。

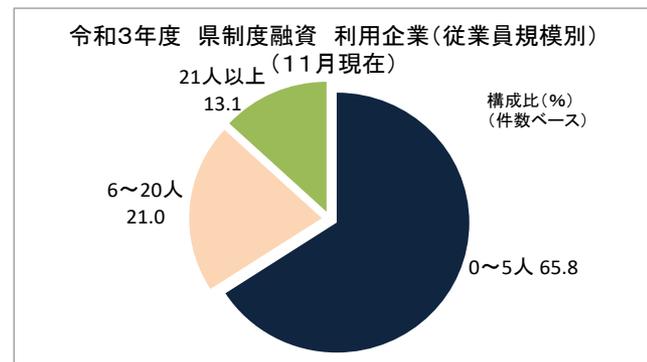
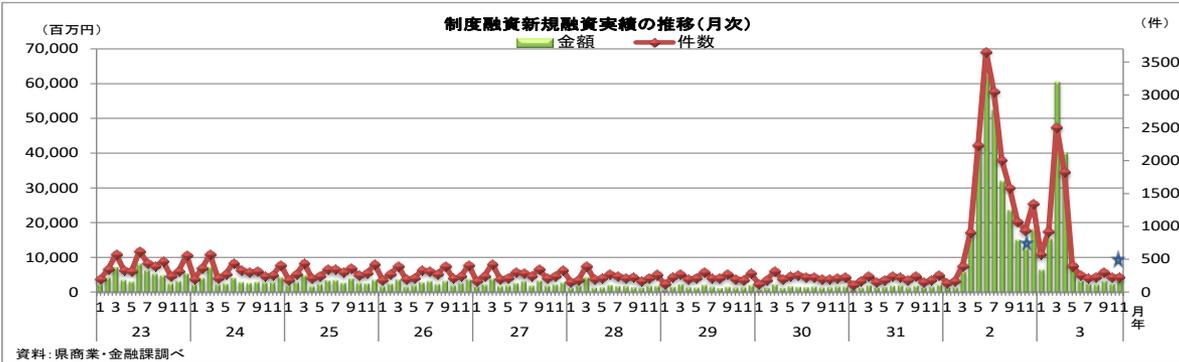
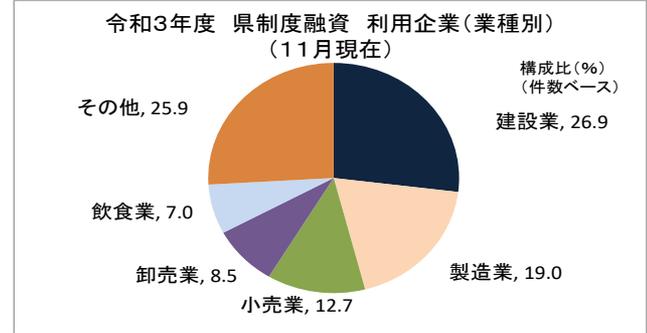


## 現場の動き

- ◆ 県の県民割引キャンペーンや修学旅行のため、宿泊客数は増加した。(岐阜、高山市内の宿泊施設)
- ◆ 県の県民割引キャンペーンの利用は週末が中心で、平日は予約が少ない。(高山、下呂市内の宿泊施設)
- ◆ 企業の団体旅行に動きが見られないため厳しい状況である。(岐阜、高山市内の宿泊施設)
- ◆ 現在も休館日を設けている。(郡上、高山市内の宿泊施設)
- ◆ 県の県民割引キャンペーンによる宿泊客数は期待していたより増えなかった。全国版のGoToトラベルの開始を期待している。(岐阜、高山市内の宿泊施設)

# 資金繰り

- 11月の岐阜県貸出金残高は、3兆3,019億円で前年同月比▲1.0%と減少に転じた。
- 11月の制度融資実績は、金額が3,427百万円で前年同月比で▲73.1%、件数は232件で同▲75.2%と、いずれも7ヶ月連続で減少した。
- 従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の65.8%を占めている。

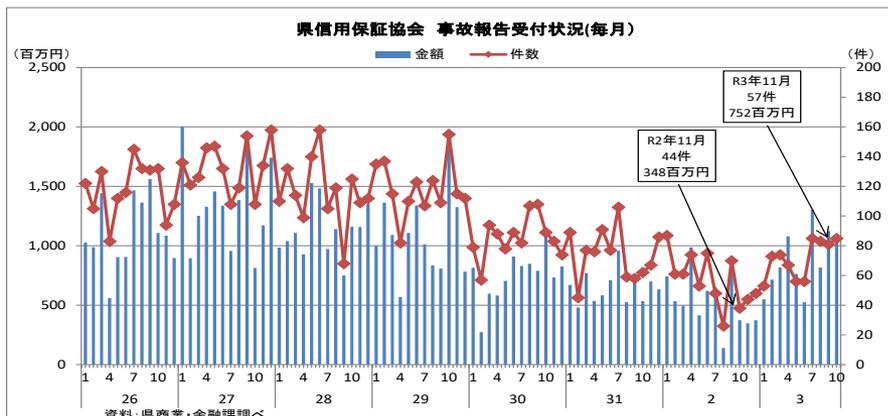
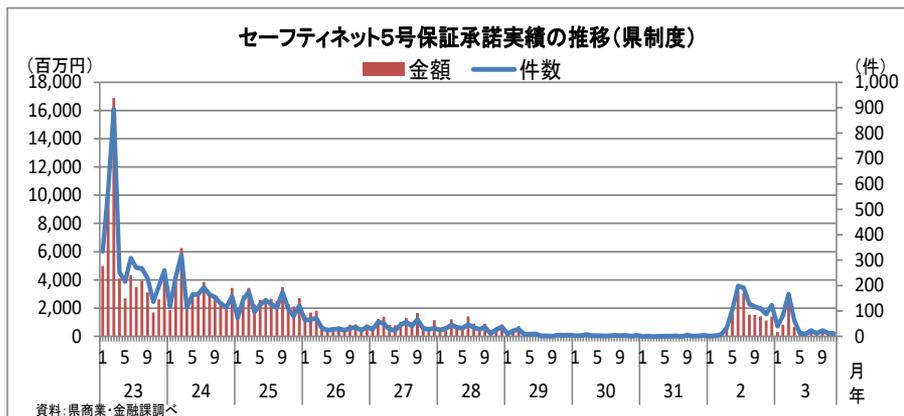
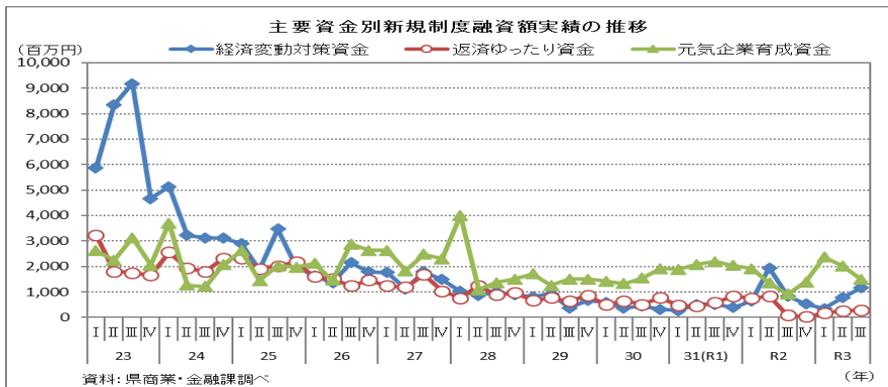
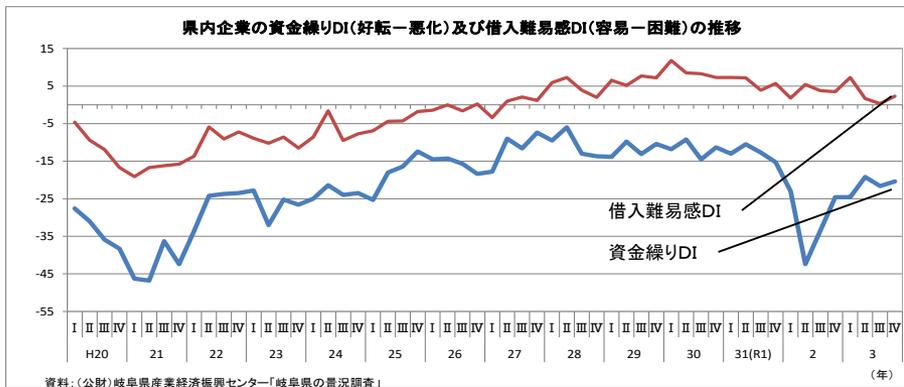


## 現場の動き

- ◆ 原材料価格の上昇の影響はあると聞いているが、これによる資金繰りの悪化は、現時点ではないため、融資には直結していない。
- ◆ 原油高により、運送業に影響が出始めている。今後、県の原油高対策資金の利用を検討する事業者も出てくるかもしれない。
- ◆ アパレル産業の業況が悪化している。コロナ禍でテレワークが進んだことで、フォーマルファッションが売れなくなったことなどが要因と考えられる。(以上、金融機関)

# 資金繰り-2

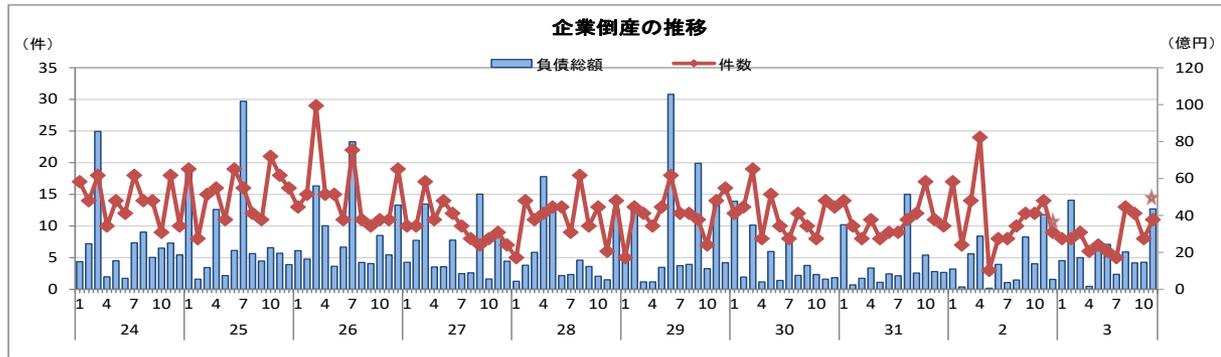
- 10-12月の資金繰りDIは▲20.4で、前期比1.2ポイント上昇した。同借入難易感DIは2.3で、同2.0ポイント上昇した。
- 7-9月期の主要資金別新規制度融資実績は、返済ゆったり資金で前期比214.9%と5期ぶりに増加、元気企業育成資金は同63.4%と3期ぶりに増加、経済変動対策資金で前年同期比36.4%と3期ぶりに増加となった。
- 11月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が12件で前年同月比▲76件減少、金額は327百万円で同▲810百万円減少した。
- 11月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は57件で前年同月比29.5%増加、金額は752百万円で同116.2%増加した。



# 倒産

○11月単月の倒産件数は前月比3件増の11件、負債総額は前月比2,897百万円増の4,359百万円となった。

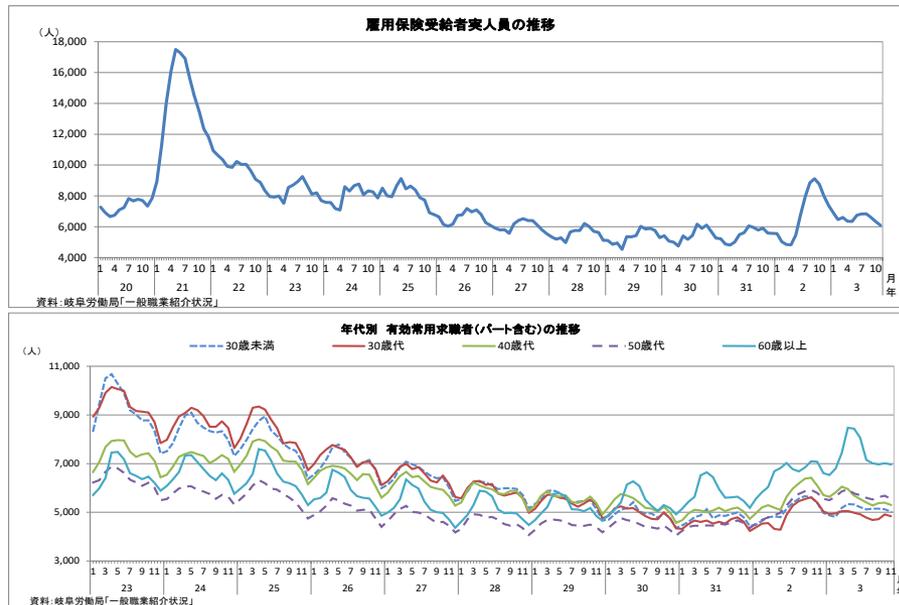
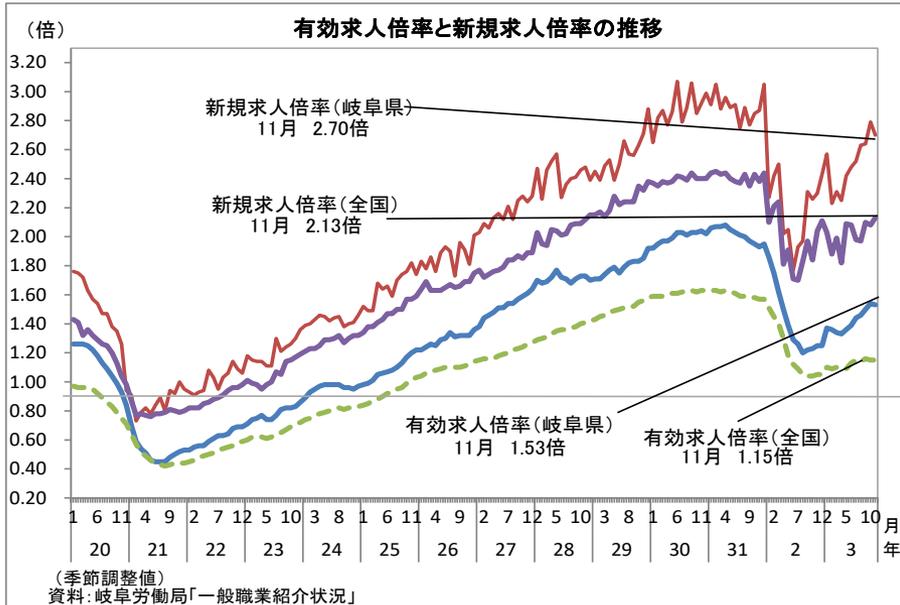
○1月から11月までの累計倒産件数は93件となり、前年同期の129件から36件減少。累計負債総額は22,990百万円となり、前年同期の16,593百万円から6,397百万円増加で推移した。



# 雇用

- 11月の有効求人倍率は1.53倍と、前月比 ▲0.01ポイント低下した。
- 11月の新規求人倍率は、2.70倍と同 ▲0.09ポイント低下した。

- 11月の雇用保険受給者人員は、前月比 ▲3.8%と減少した。
- 有効常用求職者は、すべての年代で前年同月比で減少した。



## 現場の動き

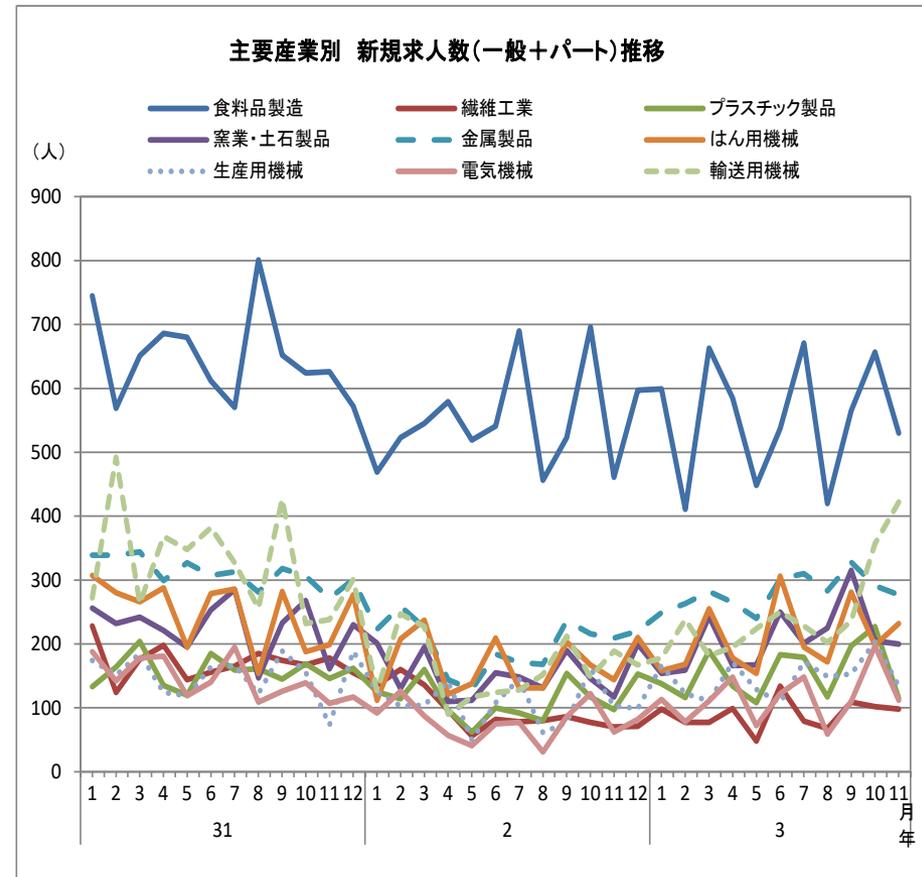
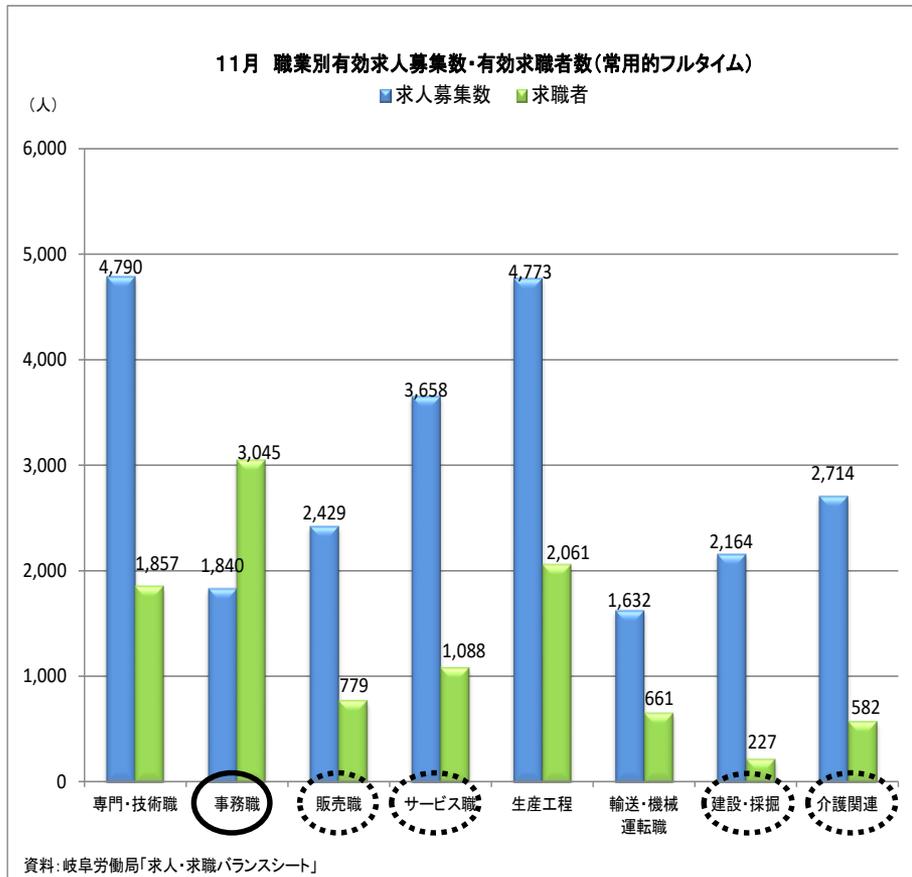
- ◆ 管理職を含む正社員、派遣社員、パートなど、いずれも不足している。(非鉄金属)
- ◆ 人手不足を感じている。人材の定着もなかなか難しい。(非鉄金属)
- ◆ 景気の見通しが不透明であるため、退職者がいるが新規採用は行わない。(生産用機械器具)
- ◆ 派遣社員の確保が難しくなっており、製造現場が人手不足に陥っている(プラスチック製品製造)
- ◆ 製造業や飲食業において、業況の回復により人員を確保しようとするも、十分確保できず人手不足になっていると聞いている。(金融機関)
- ◆ 全ての部門で人材不足のため、客室を全て稼働することができない。(宿泊施設)。
- ◆ 人材を募集をしているが、応募が無く苦慮している。(宿泊施設)。
- ◆ 新卒者の採用について、ここ数年同様、希望人数に届かなかった。(建設業)

# 雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で9.53倍、介護関連で4.66倍、サービス職で3.36倍、販売職で3.12倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

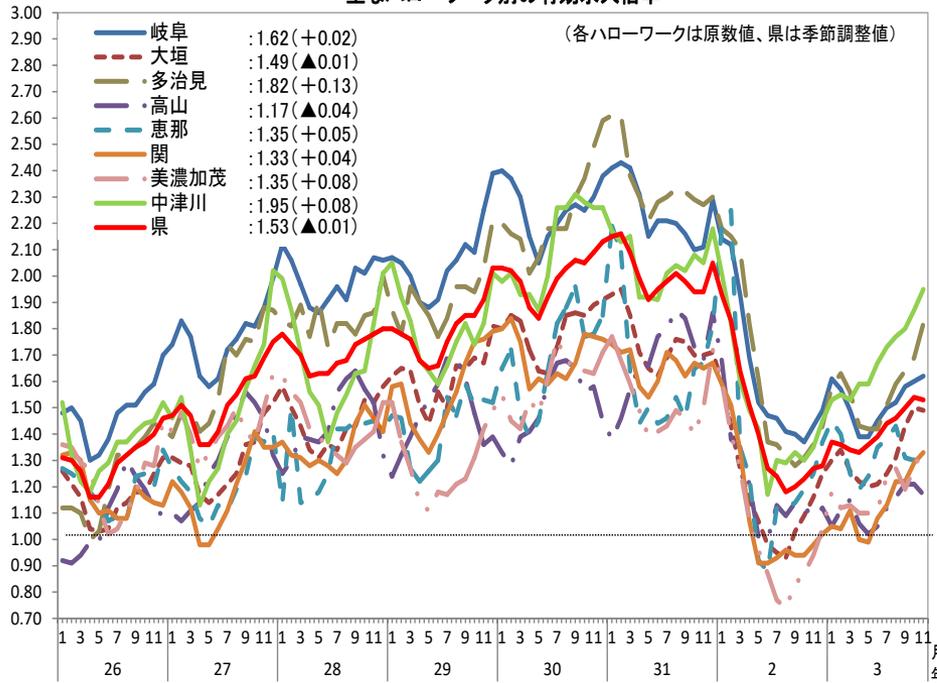
○一方で、事務職の有効求人倍率は0.60倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

○11月の主要産業別の新規求人数は、輸送用機械で前年同月比123.3%、電気機械で同80.6%、窯業・土石で同70.9%、はん用機械で同61.1%、繊維工業で同40.0%、金属製品で同32.5%、生産用機械で同30.1%、プラスチック製品で同18.6%、食料品製造で同15.0%と増加した



# 雇用(地域別)

主なハローワーク別の有効求人倍率



注1: 大垣所分は揖斐出張所分を含む 注2: 平成21年4月以降の関所分は岐阜八幡出張所を含む  
資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

○11月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、大垣、高山を除く地域で上昇した。

## 現場の動き(前月比)

### <ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

### <ハローワーク大垣>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク高山>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク関>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

### <ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク中津川>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

### <窓口の様子> ※前月比

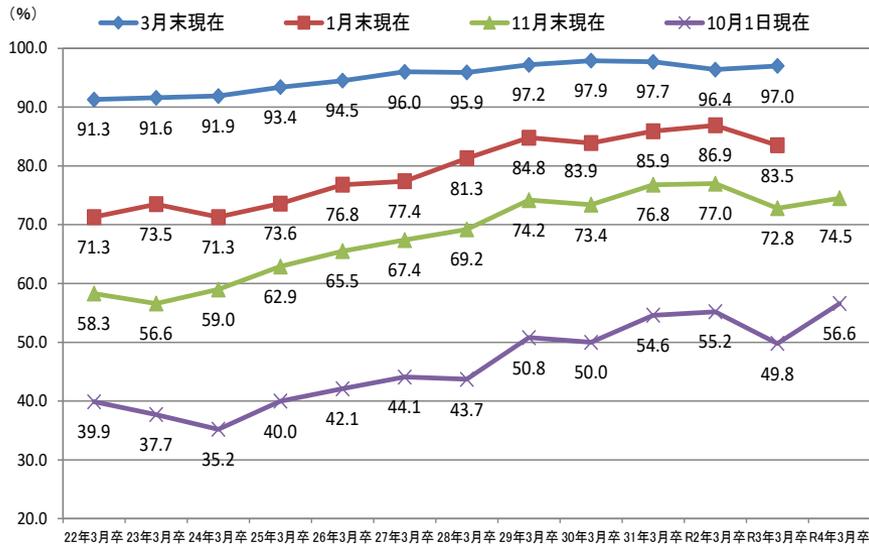
- ◆全てのハローワークで混雑傾向は見られなかった。

# 雇用(大学・短大新卒者の就職)

○岐阜県の令和3年11月末時点の大学・短大卒業者(令和4年3月卒業)の就職内定率は、74.5%であり、前年同時点と比べ1.7ポイント上昇した。

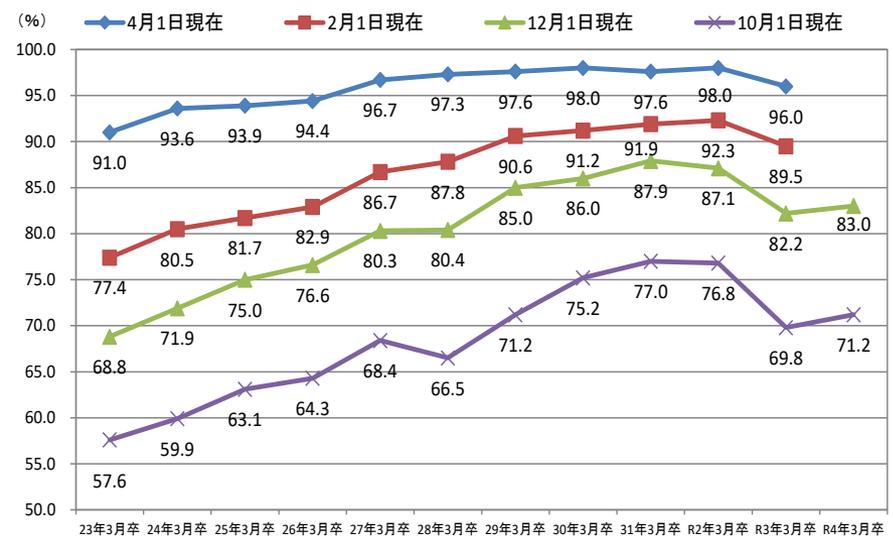
○全国の令和3年12月1日現在の大学卒業者(令和4年3月卒業)内定率は83.0%であり、前年同時点と比べ0.8ポイント上昇した。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料:岐阜労働局「新規学校卒業者(大学・短大)の就職内定状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料:厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

## 現場の動き(2022卒の動きなど)

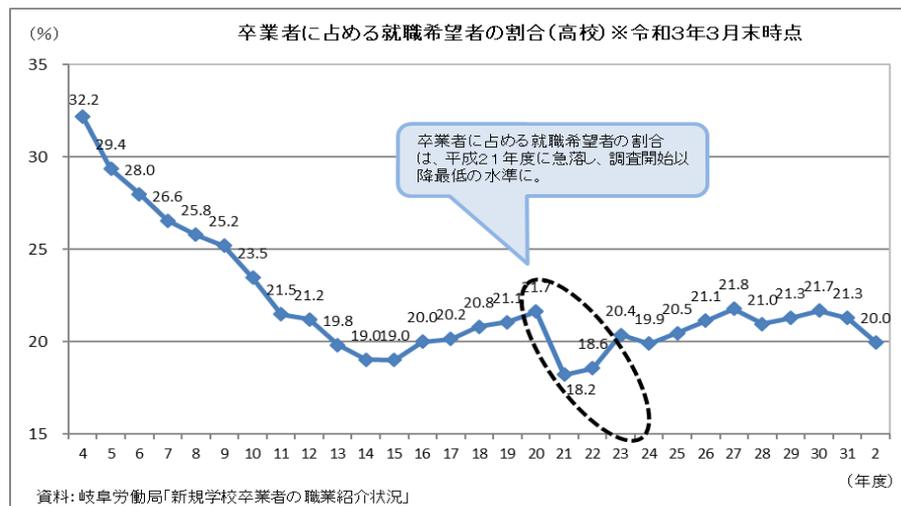
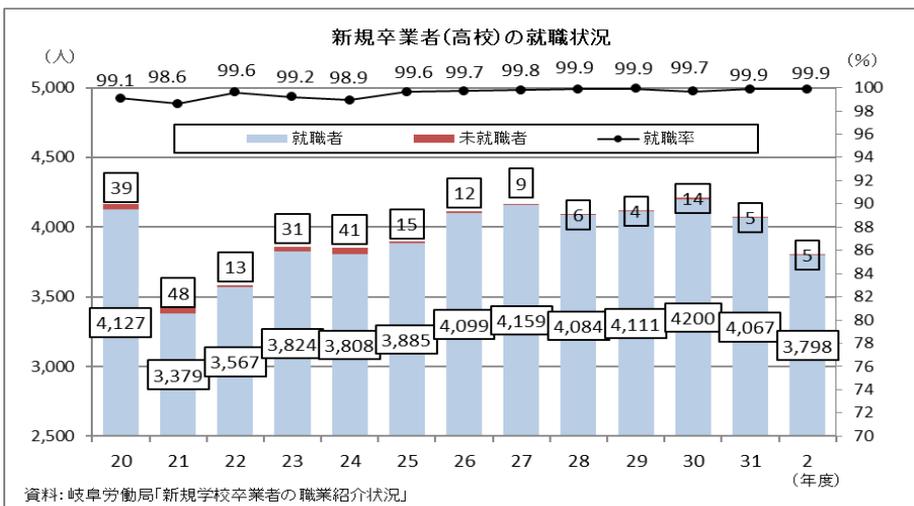
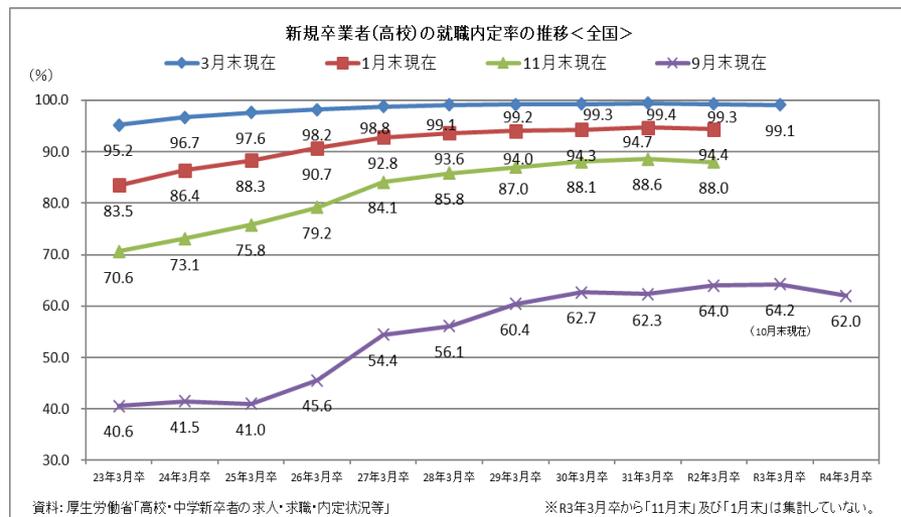
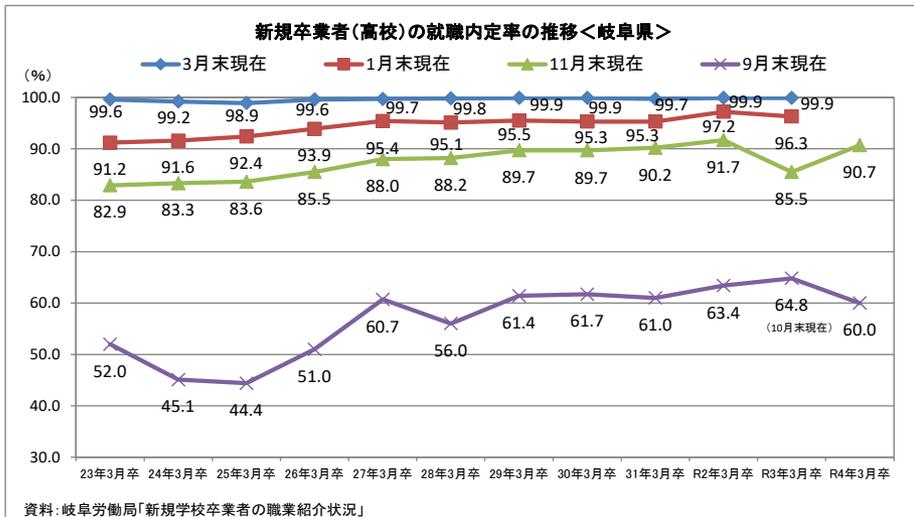
### <大学へのヒアリング>

- ◆ 22卒の内定状況は8~9割ほど、相談はかなり少なくなってきた。
- ◆ 22卒の未内定の学生に電話連絡をしているが、連絡がつかない学生が多い。23卒の相談も少ない。
- ◆ 23卒のガイダンスへの参加者が昨年同時期に比べ減少している。(以上、岐阜県内大学)
- ◆ 23卒の相談は少しずつ増えてきている。
- ◆ 22卒向けの企業からの求人は徐々に減ってきているが、23卒の採用に向けて企業の訪問も増えてきた。
- ◆ ESの添削など、23卒からの相談が少しずつ増えてきている。(以上、愛知県内大学)

# 雇用(高校新卒者の就職)

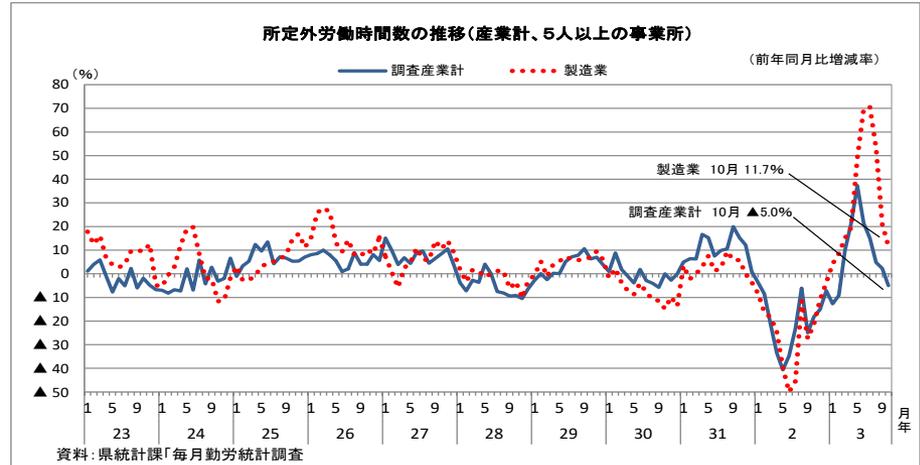
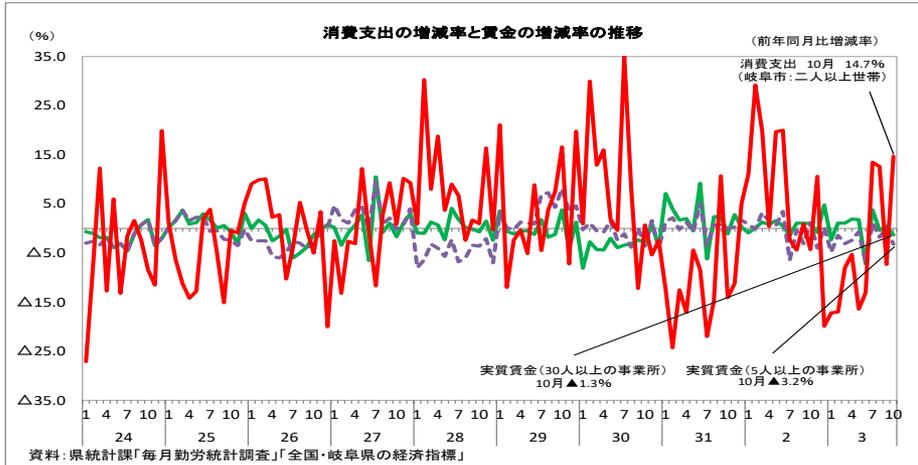
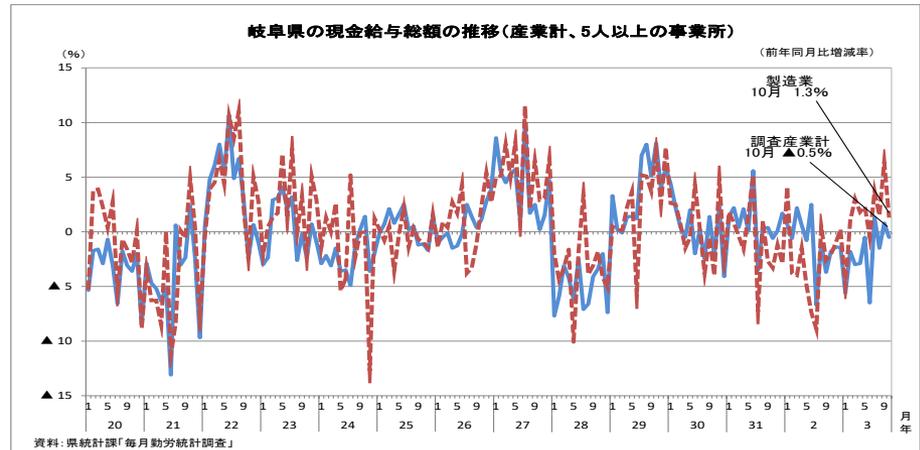
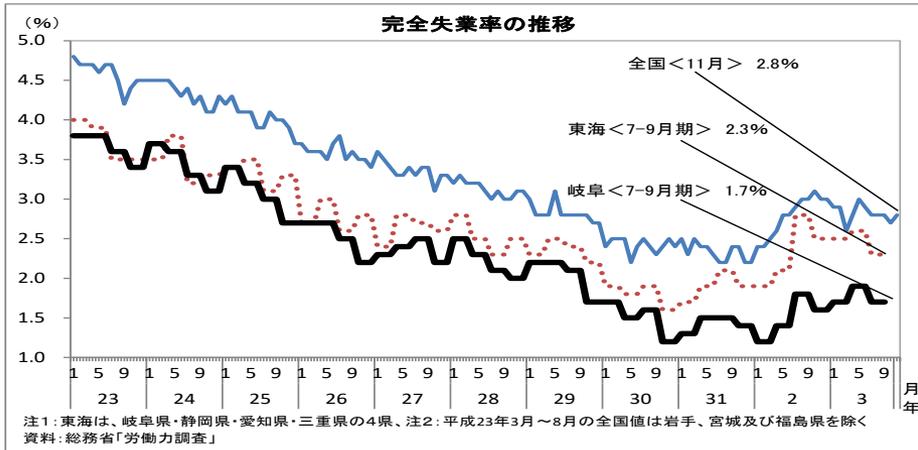
○岐阜県の令和3年11月末時点の高校卒業者(令和4年3月卒業)就職内定率は90.7%であり、前年同時点と比べ5.2ポイント上昇した。

○全国の令和3年9月末時点の高校卒業者(令和4年3月卒業)就職内定率は62.0%であり、前年10月比で▲2.2ポイント低下した。



# 雇 用(完全失業率等)

- 全国の11月の完全失業率は2.8%で前月比0.1ポイント上昇。岐阜県の7-9月期の平均は1.7%で前期比▲0.2ポイントと低下した。
- 10月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比▲0.5%の低下、製造業で同1.3%増加。
- 10月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所は前年同月比▲1.3%、5人以上の事業所は同▲3.2%と低下。10月の消費支出については同14.7%の増加した。
- 10月の所定外労働時間数は前年同月比▲5.0%で、8ヶ月ぶりに減少した。



# <経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、10月の鉱工業生産指数は前月比6.3%と上昇。ヒアリングでは、半導体関連が引き続き堅調であるなどの声があった。一方で、部品不足による大手自動車メーカーの一部工場停止の影響を懸念する声が多くあった。また、原材料価格等の上昇で価格転嫁するとの声も多くあった。
- 地場産業は、10月の鉱工業生産指数は、木材・木製品、パルプ・紙を除き上昇した。ヒアリングでは、消費の回復で業況が回復しているとの声があった。一方、コロナ前と比べると引き続き状況は良くないとの声も聞かれた。また、原材料価格等の上昇で価格転嫁を検討するとの声も多くあった。
- 設備投資は、10月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比で64.0%増加した。金融機関からのヒアリングでは、国等の補助金を活用して設備投資をする動きが見られた。
- 個人消費は、11月の販売額は、家電大型専門店、コンビニ、百貨店・スーパー、ホームセンターのいずれも減少した。ヒアリングでは、12月はこれまでの反動などで、売上や客数が増加したとの声も聞かれた。また、原材料価格等の高騰で、今後、消費者向けの商品価格が上昇すると見込んでいるとの声も聞かれた。
- 観光は、9月末をもって国の緊急事態宣言が解除され、10月15日から県民割引キャンペーンが開始されたものの、GoToトラベルの実施期間と重なる対前年同月やコロナの影響を受ける前の前々年同月と比べマイナスになるなど、厳しい状況が続いている。また、ヒアリングでは、県民割引キャンペーンの影響で週末の予約は増加しているが、平日の予約は少なく苦慮しているなどの声があった。
- 企業の資金繰りは、11月の制度融資実績は、件数、金額ともに7ヶ月連続で前年同月比で減少した。金融機関からは、運送業において原油価格の上昇の影響が出始めており、今後、県の原油高対策資金の利用を検討する事業者が出てくるかもしれないとの声も聞かれた。
- 雇用面は、11月の有効求人倍率は1.53倍と3ヶ月連続で1.50倍を超えた。ヒアリングでは、製造業や建設業に加え、消費の回復などにより、宿泊業や飲食業においても人手不足になっているとの声も聞かれた。